

## モントリオール・INRS 滞在を終えて

理学系研究科物理学専攻 博士課程 1 年 的場みづほ

ALPS 長期海外派遣を利用して、2018 年 8 月 30 日から 11 月 28 日までカナダ・モントリオールに滞在し、Institut national de la recherche scientifique (INRS) の Ozaki group において研究を行った。Ozaki group では、高強度フェムト秒レーザーを用いて物理・化学・医学及び材料科学など広い応用分野での研究を行っている。

研究所では、様々な非線形結晶からのテラヘルツ波発生および、がん細胞検出への応用に向けたテラヘルツ波ケミカル顕微鏡の動作条件の探索についての研究を行った。さらに、研究グループ内外で自分と近い分野の研究をしている方とたくさんお会いでき、東京大学での自分の研究についても議論することができた。

滞在中は初めての場所で新しく体験することばかりであり、大いに刺激を受ける毎日であった。研究所では、実験や解析のアイデアなど研究に関することから、日常生活での考え方や将来の構想に至るまで、普段とは違う目線から考えさせられる場面が多く、非常に勉強になった。また、休日にはモントリオールの街並みや美しい自然を堪能でき、充実した時間を過ごすことができた。この 3 ヶ月間の経験は、帰国後の研究生活および自分のこれからの人生にとって有意義なものとなったと思う。

最後に、このような機会を与えてくださった Prof. Ozaki と湯本先生、暖かく受け入れてくださった Ozaki グループのメンバー、そしてご支援いただいた ALPS・GMSI 関係者の皆さまに心より感謝したい。



左: 滞在した研究所 INRS-EMT の外観。右: 一面の紅葉。Mont-Tremblant にて。